

元気でバラエティ豊かな交通安全教室が好評の山部さん、高田さん ～高齢者の交通事故をなくすために～

ハツラツと交通安全活動に取り組む、阿蘇地区交通安全教育推進協議会講習員の山部頼子さんと阿蘇地区交通関係団体協議会事務局長の高田孝章さん。二人は高齢者のサロンや集いへ出向き年間70回を超える「高齢者の交通安全教室」を行っています。

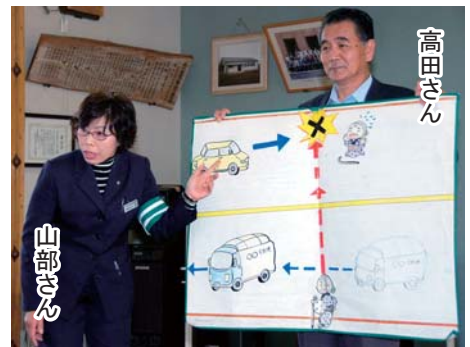
山部さんは元警視庁婦人警察官。その経験を生かして行う指導はとにかく元気で楽しく、聞いている人は話に釘付。また高田さんは元県警音楽隊でトランペットを吹いていた経験から、懐メロを演奏し参加者と一緒に歌い講習を終了。

二人は、事故に遭う比率の高い高齢者に「参加しやすい・分かりやすい講習」を心がけ、定期的な講習が必要であると講習内容をいろいろ工夫して実施されています。

山部さんはこの仕事に就かれて10年、これまでたくさんの方々に触れ、一層無事故への思いが積もります。

「阿蘇は、道路横断中や田んぼの交差点で事故が多い。加害者にも被害者にもなりうる交通事故の恐ろしさを忘れず、事故に遭わない意識を常に持っていただきたい。」と念を押されます。

ぜひ皆さん、年末年始も気を引き締め交通事故防止を心がけましょう。



成川公民館での交通安全教室の様子。

「高齢者交通安全教育」の開催を希望される方へ
「高齢者交通安全教室」の開催はいつでも受付をしています。希望する老人会は事務局に申し込みをお願いします。（☎22-5110 内線442）

安全運転を心がけてね！ 交通安全啓発活動



宮地保育園の親子交通クラブ（みやじカンガルークラブ）の園児と保護者約45名が、11月12日、阿蘇警察署前で交通安全啓発のための街頭活動を行いました。

街頭活動に参加した園児たちは、保護者と一緒に考えた交通標語を記入したカードと保育園で収穫したさつま芋をドライバー約100人に手渡し、安全運転を呼びかけました。

9月末における阿蘇市の交通事故発生件数は106件で、そのうち負傷者数は148人となっています。年末年始にかけて交通量の増加が予想されますので、安全運転を心がけましょう。

街路灯を灯し40年 東阿蘇繁栄会



防犯と街の繁栄を目的に、宮地地区に街路灯を整備し、安全で明るい街づくりに貢献している東阿蘇繁栄会（岩下哲三会長）が40周年を迎え、その記念式典が10月19日、藤屋観光で開催されました。

東阿蘇繁栄会は昭和45年に設立し、街路灯を設置。現在の会員数は138人で、198本の街路灯が設置されています。

設置後の電気代は、東阿蘇繁栄会と市が折半で負担し、管理は全て独自で行われています。街路灯の明かりはお店や地域住民の方々の方々の心遣いで灯されています。